

お取引先さま各位

## カカオ・チョコレート週刊ニュース 91号

2014/04/21 発行  
株式会社 立花商店  
生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本前後ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

### 1、市況の動き：両市場とも週を通して下落、ロンドン市場は先週比でもマイナス

① 最高：7月 LDN 市場£1,881 /7月 NY 市場\$3,020 (4/17) 先週比 **LDN -£6/NY +\$9**  
② 最低：7月 LDN 市場£1,857 /7月 NY 市場\$2,974 (4/16) 先週比 **LDN -£12/NY +\$15**  
週内価格差額 (①-②)：LDN 市場£24 (傾向↑) / NY 市場\$46 (傾向↑)  
週内建玉推移：LDN 市場 287,230 枚(4/11 終了時)⇒289,119 枚 (4/17 終了時) **+1889 枚**  
NY 市場 205,458 枚(4/11 終了時) ⇒202,206 枚 (4/17 終了時) **-3252 枚**

#### 【4月14日(月)】両市場とも小反落

両市場とも小幅に反落した。

ニューヨーク市場の7月きりは3ドル(0.1%)安の2996ドル。5月きりは8ドル(0.3%)安の2979ドルで取引を終えた。

最大生産地コートジボワールでのカカオ豆の着荷状況が引き続き好調で、ディーラーは17日発表の北米の第1四半期のカカオ豆圧砕高統計に注目している。ロンドン市場の7月きりは6ポンド(0.3%)安の1878ポンドで引けた。

#### 【4月15日(火)】両市場とも続落

ニューヨーク、ロンドン両市場ともに続落した。ニューヨーク市場の7月きりは薄商いの中、15ドル(0.5%)安の2981ドルで終了した。マレーシアのココア委員会がこの日発表した2014年第1四半期のココア圧砕高が、前年同期比13.6%減と市場予想を下回ったことを嫌気した。

ロンドンを拠点とするブローカーは「(圧砕高の)数値は驚くほど低い水準だった」と話した。ロンドン市場の7月きりは10ポンド(0.5%)安の1868ポンドで引けた。

#### 【4月16日(水)】両市場と3日続落

ニューヨーク、ロンドン両市場ともに3営業日続落した。ニューヨーク市場の7月きりは7ドル(0.2%)安の**2974ドル**で終了。ロンドン市場の7月きりは11ポンド安の**1857ポンド**で引けた。

【4月17日（木）】4営業日ぶり反発

アジアの圧砕統計が予想通りの増加幅を示したことを好感し、ニューヨーク市場の7月きりは46ドル（1.5%）高の3020ドルと、4営業日ぶりに反発して引けた。

1～3月の北米圧砕統計は米東部時間午後4時に発表される。

ロンドン市場の7月きりは24ポンド（1.3%）高の1881ポンドと、4営業日ぶりに反発して引けた。

【4月18日（金）】両市場とも休場

## 2、米国カーギル：コートジ産/認証付きカカオ豆を10万トン買い付ける見込み(4/18)

カーギルの西アフリカ部門の最高責任者である Lionel Soulard 氏は「米国穀物メジャーの1つであるカーギル社は今シーズン、コートジ産のフェアトレード等の認証付きカカオ豆を10万トン買い付けるねらいである。昨年は9万5,000トンを買付けしており、わずかな上昇となる見込みだ。」と述べた。

コートジのミッドクロップの収穫は4月1日から正式に始まっており、農家は天候が良いことから収穫について強気の見方を示している。

認証付きのカカオ豆は輸出向けの高品質なものであり、厳しい条件下で栽培されている。Soulard 氏は「我々は今期すでに9万トンの認証付きのカカオ豆を買付けた。今期は9月までであと6か月近くある。今期の終わりまでに10万トンに達するのは確実であろう」と述べた。

また彼は「来期はもっと多くの認証付きのカカオ豆を買付けるだろう。」と加えた。

同社はこうした認証付きカカオ豆に対して約20百万USドル（約20億円）のプレミアムを農業組合に支払うことができると期待している。政府は4月から9月までのミッドクロップのカカオ豆に対してkgあたり最低750 CFAフラン（\$1.58）とする基準を設けた。

## 3、米穀物商社ADM：カカオ豆プレス事業を維持、チョコレート事業は売却へ(4/16)

米穀物商社アーチャー・ダニエルズ・ミッドランド（ADM社）は15日、カカオ豆のプレス（磨砕）事業は今後も維持するが、チョコレート事業は売却する方針を変えないとする声明を発表した。

不採算事業の売却に向けて長期間にわたり交渉したが、「目標にかなう結果」は得られなかったという。交渉相手は明らかにしていない。関係筋は昨年ロイターに、ADMはカカオ豆とチョコレート事業の売却で米穀物商社カーギル社との話し合いが最終段階を迎えていると語っていた。

ADMのカカオ豆加工能力は全世界の約4分の1に相当し、関連事業がカーギルに売却されれば、スイスに本拠を置く世界最大手のバリーカレボーに十分対抗できる企業が誕生するはずだった。ただ法務専門家は、ADMとカーギルの事業規模や欧州での生産能力集中からみて、独占禁止当局がこの案件を問題視するだろうと警告していた。

#### 4、カメルーン：主要な生産地域においてカカオ豆価格が下落(4/15)

カメルーンの3つの主要な生産地において、農家からのカカオ豆買い付け価格はこの1か月を通して下落している。しかし一方で収穫量の少ないカメルーンの東部においては価格が上昇している。

カカオ豆はカメルーンの主要な輸出産品であり、主にカメルーンの中中部や南西部で栽培されている。この主要な生産地だけでカメルーンのカカオ生産高の40%を占める。また南部では15%、東部では5%の生産量を占めている。

東部では価格が跳ね上がっており、先月の875 CFAフラン/kgから1,000 CFAフラン/kgとなった。

「この価格はこの地域ではかつてないほど高値だ。」と Bertoua の農業組合の首長は述べた。

また彼は「私はこの高値の要因は、隣国のコンゴやガボンからカカオ豆の買い付け業者が来ていることにあると考えている。」と加えた。

カカオ農園は、深い谷に位置することで温暖な気候となっている北西部や西部、Adamawa 地区で拡大していくだろう。

下の表はカメルーンの各地域におけるカカオ豆の平均価格である。

(単位 CFA フラン/kg \$1=474.7980) \*1,000CFA フラン=約\$2.1

地域	都市名		
南西部		4月	3月
	Mamfe	960	1,000
	Konye	1,000	1,050
	Mbonge	1,050	1,100
	Muyuka	1,060	1,100
	Kumba	1,085	1,100
中央部			
	Bafia	1,120	1,200
	Emana	1,100	1,190
	Mbalmayo	1,050	1,160
南部			
	Ebolowa	1,025	1,100
	Sangmelima	1,050	1,150
東部			
	Bertoua	1,000	875
	Yokadouma	900	810

## 立花商店活動レポート

・ 弊社のカメルーンでのカカオ豆集荷地域：

2013/2014 クロップ集荷箇所 Mu y uka (South West), Ndiki, Bafia (Central), Aios (South)



・ 上記の地域での主たる品質改善内容

### ①品質チェックのトレーニング

スモーキーカカオ豆の選別の仕方を専門家を招聘して、生産者に研修を行った。

カカオ豆を粉砕して、熱湯に溶かして臭いをかぐことで簡単にスモーク臭を判別できることを実践して学習。



### ②カカオの乾燥工程を確認

当社の仕入先の生産者達がどのように乾燥工程を行っているかを確認している。南西部の雨の多い地域ではオーブンを使用しており、中央部の雨が比較的少ない地区では天日干しが行われている。

【南西部地域：オーブンを利用した乾燥方法】



【中央部、南部】



③品質改善方法の検証

当社にて、実験的にビニールハウスのついた乾燥選別台のテストバージョンを既に作り、パイロット用として使用したり生産者の団体に紹介したりしている。この簡易なシステムにて、雨の中でも適切な乾燥を行い、また異物を選別することを目的としている。



## 5、カメルーン：2015年までに国内に3社目のカカオ豆磨砕工場稼働(4/15)

カメルーンでは、2015年の早い時期までに、国内で3つ目になるカカオ豆の磨砕工場を設立する計画をしており、この工場での年間圧砕量は1万6,000トンになる見込みである。

世界第4位のカカオ生産高を誇るカメルーンは、政府によって国内でのカカオ豆磨砕事業が推進されているにも関わらず、現状ではその生産量の大半が輸出に向けられている。国内でカカオ豆からカカオマス、ココアバター、ココアパウダーに加工することで海外からの関連製品の輸入コストを削減し、国内での雇用創出にもつながる。

今回この工場を設立するカメルーンでの企業の責任者である Mesaca 氏は「実際にこの1年以内でプレス工場が稼働し始めたら、工場を設立し、設備を備え付け、100人ほどの人を雇用するのに130億CFAフラン(2,738万8,000ドル=約27億円)の投資をするだろう。」と述べた。

Cocoa Processing Unit 社(CPU)はカメルーンの経済の中心である Douala でプレス事業を行う計画である。スイスのバリーカレボー社の子会社である Sic-Cacaos やカメルーンの企業である Chococam 社(南アフリカのタイガーブランドの関連会社)はすでに国内でプレス事業を行っている。

Masaca 氏はまた「カメルーン国内でチョコレート飲料やデザート、菓子類のようなココアパウダーを使用する製品の市場が成長している。」と述べた。

カメルーンのカカオ豆生産高は2010/11期に24万トンと最高になったが、カカオ豆の病気や乾季が長引いたことによりその後の2011/12期は22万トンへと落ち込んだ。しかし2012/13期には再び上昇し22万8,948トンとなった。

さらにカメルーン・ココア・コーヒー委員会によると2013/14期には23万5,000トンとなる見込みである。

### 弊社独自情報)

今回のカメルーンでの工場設立は一見カメルーンの現地企業が設立するような記事にて発表されているが、実は親会社の企業は名前をわざと伏せられてプレス発表されているようだ。カーギルやADMの買収案件に注目されている中、独立系磨砕業者の中でも徐々に力を蓄えつつある企業が虎視眈々と西アフリカでの加工事業、国内販売等に一気に事業を拡大していると聞いています。

## 6、マレーシア：第1四半期の圧砕高は13.6%減少、ココアパウダーの在庫が影響(4/15)

マレーシアのココア委員会(MCB)によると、マレーシアの第1四半期の圧砕高は昨年より13.6%下落し6万2,359トンとなった。この原因としては圧砕業者が積みあがったココアパウダーの在庫を調整するために、生産を切り詰めたことによる。

ココアパウダーのバイヤーは、パウダー価格の下落を期待して買い控えており、これが原因でパウダーの在庫が積みあがっている。なお圧砕業者はバターとパウダーの在庫量を明らかにしていない。

シンガポールのディーラーは「ココアパウダーの供給過剰が現実として起きている。パウダーの在庫が多いので圧砕高は落ち込むと予測している。」と述べた。

MCB は声明の中で、2013 年の第 4 四半期と比べ圧砕高は 10.9%下落していることを指摘したが詳細については述べていない。

2013 年の圧砕高合計は 4.6%下落し、28 万 5,608 トンであった。

一部の圧砕業者は、購買意欲を高めるためにパウダーの価格を下げたが、先週のパウダーは変わらず\$1,780 ~\$2,000/MT で推移。バターレシオは 2.39~2.4 にとどまった。

他のシンガポールのディーラーによると、一部マレーシアの圧砕業者はより安価なカカオ豆を求めインドネシアに生産拠点を移している、その為にマレーシアの圧砕高が下落しているという。

今年の終わりまでにインドネシアの圧砕許容量は 85%上昇し 60 万トンにまで伸びる見込みである。しかし現在世界第 3 位のカカオ豆生産高となるインドネシアの生産高は、ここ 10 年で最低水準になっている。

\*特別の注釈がない記事は全て、基本的にロイター通信社のニュースソースを基に作成したものです。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545      w-ikuta@tachibana-grp.co.jp